
自動栗拾い機

シンプソン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自動栗拾い機

【Nコード】

N1144Y

【作者名】

シン普森

【あらすじ】

秋と言えば栗！の話！

俺は地方紙の記者をやってる。

今日はこの町の発明王と呼ばれる人から「世紀の大発明じゃ！」と一報受けて研究所に来たってわけだ。

いっちょスクープ頂くか！

「博士！慌てて来ちゃいましたよ！」

「うむ！よく来てくれた！この発明を世界へと運んでくれい！」

「ははは、博士は性急だなあ。いいでしょう！私に任せてください！……ところで発明とは？」

「あれじゃ」

/ シュッ

/ シュッ

/
シ
ユ
ツ

(後書き)

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。
ご感想のほどよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1144y/>

自動票拾い機

2011年11月1日02時09分発行